

傳設計ニュースレター

CONTENTS

- ◆今、伝えたいこと
～自分で考える
自分の働き方～
- ◆小規模保育園、
開園に向けて進行中
- ◆「保育所」×「企業」による
子育て環境整備
- ◆存在感のあるファサード
～YKK APさんの窓～
- ◆木造の新技术「CLT」
- ◆社員名鑑
- ◆会社情報



今、伝えたいこと ~自分で考える自分の働き方~

明けましておめでとうございます。新しい年をいかがお迎えでしょうか。さて、僣越ながら私から抱負を。と言いましても、少々前から考えていたことです。

今年の8月で、会社を興して27年目になります。弊社にはたくさんの社員が入社し、そして退職していきました。退職の理由はさまざまでしたが、私は日ごろより本人の意思を尊重したいと考えているため、引き止めることはしてきませんでした。一方、人材不足が叫ばれている昨今、会社として、事業所内保育所の設置をすることが、社員の定着につながると考え、セミナーを開催し、情報発信を続けてまいりました。事業所内保育所を設置すると、そこに勤める子育て中の社員が、子どもを事業所の中にある保育所に預けられるので、送り迎えなどの時間が短縮され、働きやすい環境になり、社員の意欲アップ、定着率アップにつながると考えているのです。

私は新しい時代の取り組みに思いを馳せながらも、弊社の社員の悩みを知る中で、いろいろと考えました。それは、人それぞれ事情があるということです。社員が資格を取りたい、家族との関係を見直したい、自分の健康に目を向けたい、そのために転職を考えざるを得ないのであるならば、会社に残りながら、そういった部分をクリアにさせられる体制が作れないものかと。悩んでいた部分が多少でもクリアになれば、社員は今まで以上に仕事にまい進できると考えたからです。

そこで私は、自分で考えた自分の働き方を提案するように社員に伝えました。自分のことですから、自分で考え、自分で提案することが大事です。その結果、勤務時間を変えたり、土曜出勤を休みにしたり、それが本人にとって働きやすいのであれば、何でもありではないかと考えています。更に言えば、そういう事情を受け入れ、理解しあえる社員であれば、会社の結束をより一層深めることができると考えています。金子みすずではありませんが、「みんなちがって、みんないい」、そのような風土の会社になりたいと思っています。(代表取締役 岩本 茂美)



岩本 茂美 (いわもと しげみ)

株式会社傳設計 代表取締役

《最近のこと》

例年通り(?)、連日の忘年会で酔い気味の日々が続いていますが、それは想定内。今年は更に、行く先々やばったりお会いした電車の中でお声かけいただき、そのまま飲みに行くことも。今年の目標はズバリ、飲んでも疲れない体を手に入れる! です。



★ゴルフも巧くなりたい★

★小規模保育園、開園に向けて進行中★

私は現在、大井保育園さんからのご依頼で、木造平屋建ての小規模保育園の設計監理を担当しています。ご依頼内容は0～2歳を対象とした定員15名の小規模保育園を平成29年4月に開園したいというものでした。福岡市の公募に平成28年8月に応募し、同年10月に内定、翌年4月に開園という流れを目指し、その審査の一つとなる保育園の計画をまずはお手伝いしました。



★席田小の隣で大通りに面した好立地★

公募までに何度も打合せを行い、園児や先生、保護者の動きなどを確認し、部屋の配置や大きさを決め



★地盤改良も行い安全・安心な建物へ★

ました。本園に足を運ぶ度に思うのは、皆さん、園児たちのことが大好きであること！だから打合せも園児のことを一番に考え、プランや意見を共有しながら進めました。私たちもその想いに応えるため、時には保育の仕方を教えていただきながら、プランを検討しました。今回は木造ということもあり、大きな空間となる保育室はあえて木の梁を魅せるようにし、腰壁には木板、床はフローリングにするなど、木質感が全面に出るようにしました。

10月末には無事に公募の内定を

いただき、着工となりました。施工は鹿島技研さんをお願いしました。

完成した保育園が、先生や保護者、地域の人、そして何より園児たちの笑顔が生まれる場所であればと思います。(成尾)



★外観イメージ★

傳設計 設計業務

以前、ニュースレターにて紹介させていただいた「企業主導型保育事業」の助成金の件ですが、多くの企業様から問い合わせをいただいております。今年の6月に始まったこの制度ですが、概ね2ヶ月おきに公募を行っており、11月の公募で3回目となります。11月の公募では、ある事業者様の整備費の申し込みのお手伝いをさせていただきました。また、前回紹介させていただいた、ファー



★企業主導型保育事業のチラシ★

ストプラン(設計コンセプトと平面プラン、工程表、概算工事費、設計料)も何件かいただいております。

企業様から「保育所運営ってどうやるの?」とお問い合わせをいただきます。建設的な質問であれば、すぐにお答えできるのですが、残念ながら、私たちに保育所運営のノウハウはありません...

一方、保育所様からのお問い合わせもいただいています。定員数が足りず入園を断らざるを得ない状況もあり、保育施設の拡大を考えている保育所様も多いようです。しかし、今回の助成金は企業向けであるため、保育所単体では助成金を受けることは出来ません。そこで、周辺地域の企業様と利用契約を結ぶことで、保育所主体で助成を受けることも可能となります。

私たちは設計事務所として、両者

をつなぐお手伝いをしたいと考えております。「保育所」×「企業」の連携による、質の高い保育環境をつくるのが可能です。



★イメージ★

現在も、ある保育所様よりファーストプランの発注をいただいております。皆さまも、この機会に「企業主導型保育事業」の活用を考えてみてはいかがでしょうか?(深堀)

★「保育所」×「企業」による子育て環境整備★

★存在感のあるファサード ～YKK APさんの窓～★

以前紹介させていただきました、西鉄香椎駅前の敷地にて設計しております、鉄骨造3階建ての複合施設、(仮称)レオマックビルについて、建物の顔であるファサードの「窓」についてご紹介いたします。

お施主様の第一条件は「土地区画整理でこれから変わっていく香椎にあって、街並みに馴染みながらもファッションビルとしての存在感がほしい」ということでした。そこでまず検討したのが道路側のファサードでした。店舗内の雰囲気が感じられるよ

うにするために、いかに窓サッシの存在感を消せるか、という点をYKK APさんにご相談をしたところ、サッシ見付が細身である、SYSTEMA521という商品を提案していただきました。この商品は、連窓の場合に換気窓や非常出入口がFIX窓と同一見付となり、機能性と意匠性を両立したもので、スッキリとした外観になりました。



★窓のイメージ★

このSYSTEMA521は、お施主様にもご好評でした。また、サッシ

フレームをスリム化することで、ガラスの透明感を活かした軽やかな意匠を実現します。このメリットは2階の店舗に対して、店舗レイアウト・サイン計画等により自由性を与えることができるのではないのでしょうか。



★工事中★

先日、無事着工しました。これから詳細部分のやり取りが出てくると思いますが、YKK APさんを始め、関係する協力会社さんに、今後ともご協力いただけたらと思います。(石戸谷)

NEW&HOT

TOPIX

今回は木造の新技术「CLT」について紹介させていただきます。

まず、CLTとはCross-Laminated-Timberの略で、「直交させて層状に貼り合わせた木材」という直訳で表される通り、ひき板を繊維方向が直交するように貼り合わせた、大版の木のパネルのことをいいます。



★CLTパネル★

特徴として、木材の強度のばらつきを安定させることができ、必要な形状・大きさの部材を工場生産できま

す。強度が高く、重量が軽いので、鉄筋コンクリート造や鉄骨造の建物の床や壁に採用することで、軽量化による耐震性能の向上が期待できます。また、CLTを見せるデザインにすることで、木質感を活かした空間を演出できることが魅力です。



★CLT活用のハウステンボス「変なホテル」★

一方で、木材は燃えやすい性質がありますが、化学処理で燃えにくくしたり、表面が燃えてしまっても燃え残りを確保する「燃えしろ設計」と呼ばれる方法を活用することで、建

築基準法で定める耐火性能を確保することが可能になっています。



★断面を大きくして燃え残りを確保★

海外では1990年台から普及が始まっていましたが、日本では2016年4月から告示に基づく構造設計が可能になり、徐々に全国で採用が増えているところです。

需要が伸び悩んでいる国産材ですが、まずは間伐材から利用していくことで、日本の森林整備が促されるため、次世代の森林資源のためにもなる技術だと思えます。(八尋)

★木造の新技术「CLT」★

★宿泊施設で土地活用提案セミナー開催★

昨今のインバウンド(海外から日本へ来る観光客)の影響で、福岡では特に博多駅前でホテルの開発ラッシュが続いており、弊社にも土地活用(特に宿泊施設)のご相談に来られる方が増えています。今年の春には「民泊新法」が制定される予定で、土地活用の提案として、宿泊施設のニーズが高まってきていると感じています。そこで弊社では、去る12月8日(木)に「宿泊施設での土地活用提案」をテーマに、セミナーを開催させていただきました。13時半からの予定でしたが、お申込者様多数にて、10時から同じセミナーを開催させていただきました。快く時間変更に応じてくださいました皆さま、ありがとうございました。

弊社は地主様に直接ご提案するケースが少ないため、今回のセミナーが、参加された企業様が地主様にご提案される際の一助になればと思います。ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。(古屋)



★ゲスト講師:船井総研高田氏★



★弊社の深堀の講演★

若手社員だけでお茶しました★

★内定式・採用活動★

10月に平成29年4月入社3名の内定式を行いました。社長より内定証書を授与し、正式に採用内定となりました。内定者3名には、学生時代に取り組んできたことや入社にあたっての意気込みを話していただきましたが、3名とも非常に熱意を持って研究課題に取り組んでいるようで、感心しました。三者三様の個性を持った内定者、4月から一緒に働けることがとても楽しみです。残り短い学生生活をより充実させて、実り多きものにしてほしいと思います。皆さま、4月よりご指導、ご鞭撻のほど、宜しく願い申し上げます。

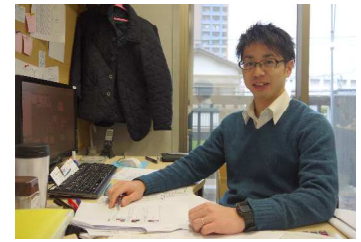
さて、弊社では、新卒採用を継続的に行い続けて、8年目になります。今年も3月の採用活動開始に向けて、ただいま、準備の真っ只中です！また、2月までは随時インターシップの受け入れを行っております。弊社では官公庁案件、民間案件、そして新築、増築、改築、改修、構造設計、耐震診断と仕事の幅が広く、たくさんの方が学べる環境だと思います。設計事務所の仕事にご興味のある方は、ぜひ弊社ホームページから、もしくは直接下記までお問合せください。(澤田)



★内定式後に、社内で

若手社員だけでお茶しました★

社員名鑑 vol.21



氏名:戸田浩平

社歴:2年8ヶ月

所属:設計1部

主な業務:意匠設計

趣味:月に1、2回フットサルやサッカーをしています。今年からはランニングも始めようと思っているので、ウェアを買いに行こうと思っています。(まずは格好から)

父が工務店を営んでいたため、幼い頃から建築に触れる機会が多く、将来は建築関係だろうなと思っていました。そんな時に隈研吾さん設計の長崎県美術館を見て、意匠設計をしたいと思います。それからというもの、雑誌や実際の建築物を見るたびに一人で興奮しています。

弊社では、設計・監理を行っていますが、やはり自分が描いた図面が実際に建ち、完成する様子は、何度経験しても楽しく、とてもやりがいを感じます。その反面、経験を重ねるごとに現実に近づく現実的なこととデザインの狭間で葛藤する毎日です。ただ、その葛藤を上手く建築に還元出来るのが、良い設計者だと思っているので、めげずに建築の仕事を楽しみたいと思います。

◆ 編集後記／／／明けておめでとう
◆ ございます。本年は酉年ですが、「鳥」
◆ を使った慣用句って意外とありますよ
◆ ね。「閑古鳥が鳴く」、「雀の涙」、「一石
◆ 二鳥」・・・などなど。個人的には、「鶏口
◆ となるも牛後となるなかれ」が好きです
◆ が、「鴨がネギを背負って来る」ような一
◆ 年だといいなと思います。／ニュースレ
◆ ターへのご意見、ご感想がありましたら
◆ 同封のアンケートをFAXでお送りくださ
◆ い。お待ちしております。／古屋



「想い・安全・未来をカタチに」

株式会社 傳設計

DEN ARCH. & ENG. OFFICE

<本社>

ADD:福岡市東区香椎駅前2-1-15

TEL:092-672-8538 FAX:092-672-8559

<サテライトオフィス>

ADD:福岡市東区香椎駅前2-12-41 302

TEL:092-692-4555 FAX:092-672-8559

